

[034]九州大学ビジネス・スクールニューズレター

<https://hdl.handle.net/2324/4763143>

出版情報：九州大学ビジネス・スクール ニューズレター. 34, pp.1-, 2021-07. Kyushu University
Business School

バージョン：

権利関係：

新専攻長よりご挨拶



昨年、私達の日常は、未曾有のコロナ禍により大きく変容を強いられました。これまで当たり前と認識していたことがいとも簡単に失われるという現実と直面しながら、一方で、従来は見られなかった新しい取り組みをあちこちで目にするようになりました。

そのようななか、立ち止まることが許されないのが教育です。QBSでは、組織内外の関係者の尽力により、新学期の講義を速やかにオンラインへと移行し、予定された科目をほぼ全て開講することができました。また、感染拡大が比較的抑制された期間は、対面と遠隔を組み合わせたハイブリッド型講義を展開してきました。

QBSは、育成すべき人材像として「経営と産業技術の知見のもとに変革をリードし、新たな事業価値を創造する国際的なビジネス・プロフェッショナル」を掲げています。今まさに、旧来のあり方を大胆に見直して変革へと導くべくリーダーシップを発揮し、新たな価値創造に邁進する人材が求められています。QBSは、経営マネジメントに関する先端の理論や知識を提供するカリキュラムのみならず、実践を通じて知識の定着を図る様々なプログラムを提供しています。アジア各国の最新動向に触れる国際交流プログラム『ICABE』、自ら考案した事業アイデアをチームで仮説検証し投資家などにプレゼンテーションする『QBSビジネスプラン・コンテスト』、2年次のプロジェクト演習論文の成果を発表する『MBA成長戦略フォーラム』などはその一例です。多くは、コロナ禍の制約を受けながらも、学生達の主体的な関与と創意工夫によって継続されています。

QBSは、コロナ禍にあっても、変革をリードし新たな価値創造を担う人材の育成を続けて参ります。

高田 仁(専攻長)

QBS大学説明会のご案内

九州大学ビジネス・スクール(QBS)では、2022年4月入学者のための大学説明会/オープンキャンパスを下記の通り開催いたします。各会場では、QBSの概要説明の他、教員による「模擬講義」や「学生の声を聞く」と題して、社会人学生である修生・在校生の仕事と学業の両立、QBSに入学することのメリット等の体験談を聞くことができるプログラムをご準備しております。なお、当日は会場からウェブ会議システムZoomを利用した、ライブ配信も実施いたします。会場にお越しいただくことが難しい方は、リモートでもご参加いただけます。

ぜひこの機会にQBSでの学びに触れてみませんか。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

QBS

検索



申込方法：下記 URL の申込フォームよりお申込み下さい。
<https://qbs.kyushu-u.ac.jp/form-sys/>

お問合せ：九州大学ビジネス・スクール(QBS)支援室
E-mail：qbs@econ.kyushu-u.ac.jp

※申込時に会場参加もしくはオンライン参加をお選びください。



■大学説明会(福岡)

日時：8月4日(水)19:00~21:15
場所：JR博多シティ10階 大会議室
模擬講義：星野 裕志 教授
「開発途上国への参入戦略」

■オープンキャンパス(入試説明会：福岡)

日時：9月11日(土)14:00~16:05
場所：伊都キャンパス イースト2号館E-109
模擬講義：小城 武彦 教授
「会社は誰のためのものか」

※情勢により全日程、完全オンラインで開催となる場合は、QBS公式HPにてお知らせいたします。

九州大学ビジネス・スクール<MBA課程>
2022年4月入学生(20期生)

募集のお知らせ ~ 一般選抜 ~

出願期間/令和3年9月27日(月)~10月5日(火)
募集人員/45名(特別選抜 若干名含む)
選抜方法/書類審査(第1次試験)・口頭試験ほか
第2次試験期日/令和3年10月30日(土)・31日(日)

■入学試験について詳しくはホームページをご覧ください■

ホームページ：<https://qbs.kyushu-u.ac.jp/>

◎募集要項のダウンロードができます◎



広垣光紀准教授着任のご挨拶



はじめまして。今年度より着任した広垣光紀です。QBSでは、「マーケティング戦略」、「国際マーケティング(英語科目)」を担当します。

マーケティングとは、企業が継続的に利益を上げ、ビジネスを続けられるような「売れる仕組みづくり」を考える活動です。競合他社がひしめき合い、市場に類似商品があふれる中で、どうしたら顧客に自社の商品やサービスを選んでもらえるでしょうか？また、限られた予算や時間のもとで売り上げを伸ばすためには、どんな工夫が必要なのでしょう？実は、視点やプレゼンテーションの仕方をほんの少し変えるだけで、顧客の反応が大きく変わり、訴求力のある商品やサービスとして認知されるようになるケースも多いのです。授業では、マーケティングの最新の学術的知見やケーススタディをもとに、市場で生き残るための実践的な問題解決能力を身に付けていきます。QBSの学生の皆さん、これからどうぞよろしくお願いいたします。

QBS修了生による寄附講義の開講

2021年度後期に、QBS修了生(9期)の日高美治氏からのご寄附によって、中小企業トップの経営マネジメント手法を学ぶ「マネジメント演習 I-1」が開講されます。日高氏は、家業である中小企業の経営に永らく携わってこられました。その過程でQBSでの学びが大いに活かされたことに謝意を表されてQBSへの寄附を申し出て頂き、本講義の実現へと至ったものです。今後、3年間に渡って開講される予定です。

QBSアジア説明会(オンライン)を開催



2021年3月13日(土)に海外における学生募集プロモーションの一環としてQBSアジア説明会を開催しました。前半は、QBSカリキュラムや入試制度の説明を目代が行い、後半は小城武彦教授による模擬講義(「コーポレート・ガバナンス:会社は誰のためのものか」)を実施しました。模擬講義では、QBSで

の授業しながら受講者自身の判断を問うケース討論が行われ、活発な議論が交わされました。

説明会の実施に当たっては、QBS修了生の王豪さん(9期)が代表を務める「ゆめ留学」から全面的な協力をいただき、中国の社会人を中心に約40名の参加を得ることができました。オンライン説明会は、昨年に引き続き2回目となりますが、実施する側にも参加する側にもすっかり遠隔方式が浸透し、Withコロナ時代の新たなイベント開催の可能性を再確認しました。今後は、QAN上海支部との交流や中国以外の国・地域におけるプロモーション活動にも取り組んでいきたいと考えています。

目代 武史(企業戦略、生産管理)

成長志向のMBA @福岡2021

今年度も5月から7月まで全7回にわたり本講座をオンラインで開講中です。今回の共通テーマは「変革の視座を得る」です。デジタルをはじめ、企業に求められる変革(トランスフォーメーション)。激変する事業環境や未経験のビジネス領域で打ち手がなかなか見いだせない今、新たな事業価値を創造し成長軌道を切り開くために何が必要なのか。そのカギとなる思考や観点から、変革の視座を得るための知見を身につけます。

コロナ禍と闘う多くの方々が本セミナー・シリーズに参加され、現状を克服するために確かな変革の視座を獲得されることを期待しています。

第19期生入学式



令和3年4月3日(土)13時半より九州大学大学院経済学府産業マネジメント専攻入学式が、伊都キャンパスイーストゾーンD-103講義室にて開催され

ました。本年度の入学式は、新型コロナウイルス感染予防対策に伴い、対面とオンラインを組み合わせたハイブリッド型での開催となり、40名が入学されました。

高田仁専攻長が開会の辞をされ、大石佳一経済学府長の挨拶の後、下関市立大学元学長・元理事長 荻野喜弘様より祝辞を、華中科技大学 管理学院院長、王宗军(Zongjun Wang)先生より祝電をいただきました。19期生の皆様のご入学、心より歓迎申し上げます。

Welcome to QBS!



2021年4月6日。春の日差しが心地よい中、QBSの入学式が行われ、新たな仲間が40名加わりました。改めて、1年生の皆さま、ご入学おめでとうございます。

入学式後、QBSの先生方と2年生で、1年生の歓迎会をZoomにて開催いたしました。全体セッションやグループごとのコミュニケーションタイム等、昨年一年間のオンライン授業経験を活かしたイベントとなりました。総勢60名以上の方々にご参加いただき、大盛況で終えることができました。

今年度も対面とオンラインのハイブリッドでの運用が続きます。不安なことも多々あるかと思いますが、1・2年生が一丸となり充実したQBS生活をつくっていきましょう！これから、一緒に学べること楽しみにしています。

佐藤 愛桔(18期生)

パンデミックに対応するQBS授業

令和2年度前期のQBS授業は、教員の遠隔授業の研修が必要になったため、春学期の開始を通常より1カ月遅らせて、Zoomによる遠隔授業を開講することにしました。5月途中で緊急事態宣言は解除されましたが、前期の授業はすべて遠隔で行うことにしました。

新型コロナの感染状況が多少改善されたため、後期の秋学期には、土曜に伊都キャンパスで開講される高田教授と私の授業は対面とオンラインを組み合わせたハイブリッド型で実施しました。遠隔学生から同級生と人間関係が作りたいという声が出たためもあります。対面で受講する学生もマイク付きヘッドセットとPCを教室に持ち込んで遠隔学生と議論する新しい授業形態は、学生同士のネットワーキングも可能にしました。後期の冬学期からは、博多教室でもハイブリッド型授業を始めましたが、これはスピーカーフォンとビデオカメラによる板書の撮影を伴うもので、初めて使用する配信機材の扱いに当初は苦戦したこともありました。

今年1月には2度目の緊急事態宣言が出たため、また全面遠隔授業に戻ざるを得ない状況となりました。その後、2度目の緊急事態宣言が解除されたので、令和3年度前期は、再度ハイブリッド型授業に戻しました。教員と板書をビデオカメラで撮影しながら配信していましたが、再び5月に宣言が出たことで、現在は全面遠隔となっています。日々刻々と変わる情勢に対応しつつ、遠隔授業のクオリティを高めていくための試行錯誤が続いています。(6月16日 現在)
村藤 功(企業財務、企業価値創造とM&A)

イブニング・ビジネススクール 今年も開催決定!

イブニング・ビジネススクールは、2013年にQBS 10周年記念イベントとして開始され、現在まで43回



開催されています。エフエム福岡の朝の番組「モーニング・ビジネススクール」では、毎朝約8分の短い解説に対して、「イブニング・ビジネススクール」では、二人の教員が、40分づつ講義を行うことで、QBSに関心を持ち、入学された人もいます。昨年度は、全てオンラインでの実施となりましたが、オンラインならではのチャット利用の双方向性、遠方からの参加、多くの参加者数等、大変充実したイベントとなりました。

今年度は合計5回のオンライン開催を予定しております。開催日や詳細については、決まり次第、エフエム福岡とQBSのホームページでご案内いたします。

第4回MBA成長戦略フォーラム

2021年3月13日に第4回MBA成長戦略フォーラムを執り行いました。本来であれば第4回開催は2020年3月に予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響から開催を見送っておりました。今回のフォーラムは、「QBS2年間の振り返り」「プロジェクト演習の研究発表」に焦点をあて、16期生と17期生の代表6名にご発表いただきました。

初のオンライン開催で不安もありましたが、約70名という非常に多くの方々にご参加いただきました。新型コロナウイルスにも負けないQBSの「絆」が、オンライン開催という新たな形を生み出したと思います。本フォーラムを通じてQBSの「絆」がより強くなり、世の中に新たな価値を創造するきっかけとなれば幸いです。

森 聡之(18期生)



第17期生修了式



令和3年3月20日(祝)15時より九州大学大学院経済学府産業マネジメント専攻修了式が、伊都キャンパスイーストゾーンD-103講義室にて執り行われました。

QBS伝統のガウンを着用し、41名が修了されました。

永田晃也専攻長の開会の辞に続き、岩田健治経済学府長の挨拶、(株)日立製作所 代表執行役 執行役員副社長 西野壽一様より記念スピーチを頂戴しました。本年度の学位記の授与は代表1名が学府長より授与されました。成績優秀者4名、南信子賞2名の表彰が行われました。

平松拓教授による教員挨拶の後、原美咲氏が在校生を代表し送辞、山口圭三氏が修了生を代表し答辞を述べました。永田専攻長の閉式の辞の後、QBSアラムナイネットワーク(QAN)の説明に続きました。MBAホルダーとなられた修了生が九州で、そしてアジアで大きく羽ばたいていくことを祈願しています。

修了生紹介



小川 弘美さん(13期生)

所属▶株式会社西日本シティ銀行

私がQBSを志望したのは、社会人10年目を前に、100%の正解がないビジネスの場で意思決定するだけの知識や視点、判断軸が不足していると痛感したからです。

QBSは、知識・経験豊富な教授陣の指導や、実社会で活躍する多様な学生との議論を通じて、より実務に精通した知見を得ることができ、自分の価値観を再認識し、視野を広げ視点を変える機会を得ることもできます。また、学びを仕事の中で試し、その課題を持ち寄るという理論と実践を繰り返す中で、物事を仕事に引き寄せて考える習慣や考え抜いて自分なりの結論を導く力を育てることができます。

この経験は、業務や昇格試験の糧となり、新分野への異動につながりました。現在、私は重要な経営資源である「ヒト」に関する業務に携わっていますが、今後も学びとネットワーキングを継続し、働き方や経営環境の変化への柔軟な対応、人材と組織の成長に貢献できるよう精進してまいります。

考えれば考えるほど、動けば動くほど自分に返ってきます。この機会を最大限活用してみてください。



東久保 耕一さん(17期生)

所属▶メルコセミコンダクタエンジニアリング株式会社

17期の東久保(とうくぼ)です。私は半導体業界に技術職として勤めています。ここ一年はコロナ禍での需要の浮き沈みに苦勞していますが、QBSでの学びのおかげで世の中のニュースや数字情報に敏感になり、より世界に目を向けて考え、行動する様になりました。また、職場グループにおいても組織マネジメントの学びを元に行動した結果、大きなトラブルなく成果が上がっているように感じます。

さて17期は2019.4に入学し、2021.3に修了しました。我々17期は2年間伊都キャンパスを拠点にした初めての期です。また2020.3に予定していた成長戦略フォーラムは新たな催しなど準備は進めたもののコロナ禍で中止、2020.5からは初のオンライン講義、さらには同年のICABEもコロナ禍で中止と、今までにない様々な「初めて」を経験した期です。この激動の1年間は前例がなく、QBSでも仕事でも新しい取り組みを前向きに実践してきました。これからは「新しい事」に取り組み、社会へ還元できる人間に成長し続けたいと思います。

QAN便り



第1回拡大高田ゼミ

2022年には20期を迎えるQBS。期という“時間”と、九州からアジアなどの海外まで広がる“空間”でQBSは広がり続けています。QBSは、メンバーそれぞれが異なるバックボーン、経験を有しており、私達の予想を超える化学反応を起こします。しかし、昨年初めから続くコロナ禍で、リアル空間では化学反応を起こしづらい状況です。そこで、QANでは化学反応を促進する触媒として拡大ゼミを企画し、完全オンラインやリアル併催のハイブリッドで開催しました。構成は講義、輪読内容の発表とディスカッション、期を超えた交流でした。第1回は高田ゼミ（'20年11月23日）、第2回は永田ゼミ（'21年3月13日）を開催しました。参加者は第1回21名、第2回56名と多くの方に参加頂き好評でした。感想を頂いて分かったことは、在学生も修了生も学び続ける必要性と楽しさを求めているということでした。学びをアップデートして変革するワクワクを感じたいとも言えるでしょう。このようにQBSコミュニティの拡大を支える活動をQANは提供し続けます。第3回もご期待ください！

QAN理事 岩本 涼太郎(16期生)

Book Review

▶『東洋的な見方』

鈴木大拙 著、岩波書店、1997年4月発行、1,067円(税込)



©<https://www.iwanami.co.jp/book/b246351.html>

人生を通じて何度となく読み返す書籍が誰にでもあると思います。本書は、私にとってそんな一冊です。

禅思想の大家である大拙が、長く米国に暮らし西洋思想の本質を理解した上で、96年の人生の最晩年に書き上げた東洋思想の本質。

山は「征服する」ものである西洋と「山は是れ山」である東洋。

初めて手にした10代の私は、その難解さに完膚なきまでに打ちのめされ、「何とか理解してやろう」と禅寺に修行に向くなど長年格闘してきました。その理解度が自身の人生の「しるし」となる、そんな一冊です。

小城 武彦(コーポレート・ガバナンスと監査、マネジメント・コントロール)

▶『多文化社会の消費者認知構造—グローバル化とカントリー・バイアス』

寺崎新一郎 著、早稲田大学出版部、2021年2月発行、4,000円(税別)



©<https://www.amazon.co.jp/>

国家に対する先入態度(カントリー・バイアス)が消費者行動に及ぼす行動は、従来、自民族中心主義や敵対心などのネガティブな態度に焦点を当てて論じられてきた。これに対して本書は、「異文化に対する寛容さや多様性の賛美」を意味する消費者コスモポリタニズムや、「特定の国家に対する好意や愛着」を意味する消費者アフィニティといったポジティブな概念に注目した先駆的な研究成果となっている。なお、著者の寺崎氏(立命館大学准教授)は、かつてQBSの助教として「ビジネス統計」の教鞭をとった気鋭の研究者である。

永田 晃也(イノベーション・マネジメント、知識マネジメント)

在校生紹介



大島 梢さん(18期生)

所属▶ロート製薬株式会社

QBSで学ぶということは、単なる経営学の体系的なインプットではなく、自分の暮らす世界の解像度と角度が何段も上がり、より鮮やかになることだった。

日本の会社組織や政治や教育制度など、ちょっとした日常の“透明な天井”に違和感や不平等感をうっすらと覚えながら「こういうものだから仕方ない」と、どこか諦めながら生きてきた。しかし、この透明な天井の正体を明文化し改善してみたいという知的好奇心が、MBAの門戸を叩きかけとなった。

人間の在るべき姿や継続的な社会の在り方の定義力、そのギャップを埋めるための戦略構想力、そして周囲を巻き込んで推進するリーダーシップ。この3つが今後の自分に必要なスキルだ。未熟な自分がこれらを身に着けるには時間と根気が必要だが、教員や学友との繋がりが自己研磨の支えとなっている。ここは知と人との縁が無限に広がるかけがえのない場なのだ。



寺本 憲功さん(18期生)

所属▶国立大学法人 佐賀大学

我々がQBSへ入学した2020年4月はまさに新型コロナウイルス感染症が拡大し始めた時期と重なり、QBSは逸早く従来型の講義スタイル(対面講義)からリモート講義(Zoomによる遠隔講義)へ移行し、お陰様で我々は何ら支障無く、「学び」を開始出来ました。この場をお借りし、ご尽力頂いた多くのQBSの教職員の方々へ心より感謝申し上げます。

さて“基礎医学者の端くれ”であった私が“ひょん”なことから国立大学経営に参画することになり、独学で経営学・会計学を習得しておりましたが、「学びの成果」を早く社会実践する為には体系的に学ぶ方が良いのでは!と考え直し、QBSの門を叩きました。

コロナを機にこれまでに無い大変革が社会に起き、変化が起こる以前と同じ常態へ戻ることが出来ず、今まさに新たな常識が定着しつつあります(ニューノーマル)。これをビジネスチャンス!と捉え、同期生らと共に日々、研鑽を積み、挑戦し続けます。